

日本鉱物科学会 平成 21 年度 第 2 回定例評議員会議事録

日時：平成 22 年 5 月 23 日（日）18：00－19：15

会場：幕張メッセ 国際会議場 202

出席

会長：松原 聡

副会長：大谷栄治

評議員：大和田正明、川本竜彦、貴治康夫、濱本拓志、宮脇律郎、柳澤教雄、石渡 明、入舩徹男、榎並正樹、土山 明、富樫茂子、坂本尚義、赤荻正樹、赤坂正秀、小山内康人、小澤一仁、奥山康子、鍵 裕之、平島崇男

庶務幹事：小山内康人

会員幹事：平島崇男

会計幹事：石渡 明

行事幹事：大和田正明

和文誌編集幹事：赤坂正秀

英文誌編集幹事：榎並正樹

渉外幹事：柳澤教雄

広報幹事：柳澤教雄

特務幹事（会則・内規検討担当）土山 明

会計監査委員：伴 雅雄

地球惑星科学関連学会連絡担当委員：大谷栄治

三鉱連絡委員：小山内康人・大和田正明

選挙管理委員会委員：安東淳一

行事委員会委員長：大和田正明

渉外委員会委員長：赤荻正樹

普及教育委員会 委員長：奥山康子

新鉱物・鉱物名委員会委員長：松原 聡

将来企画委員会委員長：大谷栄治

年会運営委員会委員長：赤坂正秀

日本鉱物科学会賞選考委員会委員長（代行）土山 明

渡邊萬次郎賞選考委員会委員長 赤荻正樹

日本鉱物科学会研究奨励賞選考委員会委員長 小澤一仁

日本鉱物科学会応用鉱物科学賞選考委員会委員長 鍵 裕之

桜井賞選考委員会委員長 加藤 昭（代理：松原 聡）

会議に先立ち、小山内庶務幹事より、今後の各評議員委員会において書記を 1 名選出する事にしたい旨の提案があり、満場一致で了承された。本評議員会の書記として安東淳一会員が選出され、満場一致で承認された。

議題

I. 報告事項

1. 会計報告（石渡会計幹事）

日本鉱物科学会平成 21 年度会計中間報告として以下の 4 点が行われた。

1) 平成 21 年度一般会計中間報告（平成 21 年 9 月 1 日～平成 22 年 5 月 17 日）

2) 2009 年年度会計決算報告

3) 平成 21 年度科研費補助金収支報告

4) 収納代行業者によるコンビニエンスストアからの郵便振替口座会費納入利用を追加して利便性を図る。

現在の下記会費納入方法(a-c)に追加して、会員に納入方法を選択して納入してもらうこととする。

(a) 学会郵便振替口座への郵便局からの納入

(b) 収納代行業者による金融機関口座引き落とし納入

(c) 学会の銀行口座への振込

2. 科研費報告（土屋特務幹事：代理 石渡会計幹事）

平成 22 年 4 月 20 日に実施した平成 21 年度科研費補助金内部監査状況、および平成 22 年度科研費補助金採択内定について報告があった。

3. 科研費一般競争入札報告（長瀬特務幹事：代理石渡会計幹事）

Journal of Mineralogical and Petrological Sciences について、平成 22～25 年度の印刷費「直接出版費」について、平成 21 年 10 月 16 日付けで一般競争入札公告を学会 HP に公開し 3 社の入札があった旨の報告があった。また、平成 21 年 10 月 29 日に石渡会計幹事、

長瀬特務幹事、事務局員の立会いのもと開札した結果、笹氣出版印刷が最低価格で落札した旨も報告された。

4. 会員報告（平島会員幹事）

平成 21 年度第 1 回評議員会以降の会員動静について報告があった。物故会員 4 名(名誉会員 1 名,永年会員 1 名,一般正会員 2 名),退会者 6 名(一般正会員 4 名,学生正会員 2 名),不明者 5 名(一般正会員 3 名,学生正会員 2 名),講読会員新規 3 件,講読会員中止(国内 4 件,海外 1 件)であり、現時点での会員数は 970 名となった。賛助会員,講読会員を含む団体登録は、182 件である。

なお、会員の減少傾向が続くことから、新たにシニア会員制度創設に向けたワーキンググループを設置し、平成 21 年度第 3 回評議員会までに検討を開始することが報告された。

5. 広報・渉外報告（柳澤幹事）

1) 広報関係

昨年の札幌での総会以後、5/13 までに 38 回の会員 ML の配信を行った。主な内容は、地惑連合や IMA2010 に関すること、協賛行事、公募案内、国際会議やセミナーの案内である。さらに昨年 11 月の事業仕分けに関する声明等の緊急配信を行った。これらの内容については、同時に HP への掲載も行っている。

2) 渉外関係

国際惑星地球年 IYPE 日本に一口 5 万円で 2 回(20 年度 21 年度)協賛金を納めましたので平成 22 年 3 月 28 日に感謝状を受領。

6. 和文誌（GKK）編集報告(赤坂 GKK 編集幹事)

GKK の編集状況について以下の様な報告があった。

1) 39 巻 3 号 (5 月号) 2 論文 WEB 早期公開中、本誌印刷準備中。
39 巻 4 号 (7 月号) 2 論文 WEB 早期公開印刷準備中。現在査読中論文：7 編。その内受理予定 0 編。

2) 新編集委員の推薦：高須 晃、宮島 宏、永嶋真理子

3) J-STAGE での早期公開利用：掲載受理となった論文が学会誌に印刷して発行するまで時間がある場合、通常の印刷過程の初校校正、再校校正を経た本文 PDF ファイルを J-STAGE の早期公開を利用して公開することにした。

4) 投稿規程の変更：・原著論文：刷り上がり 18 頁以内・カラー印刷費の実費（1 頁当り約 5～6 万円）を著者負担とする。・受理原稿提出について：論文が受理されたら、編集委員会事務局の指示に従って受理論文ファイルを E-mail で提出する。プリントや CD 提出は原則不要。

5) 岩石鉱物科学 38 巻 5 号(9 月号)～39 巻 2 号 (3 月号) の掲載件数頁数は以下の通り。原著論文 6 件 104p、短報 1 件 5p、資料・解説 6 件 42p、訂正 1 件 1p、新刊紹介 4 件 3p、ニュース(他学会案内,教官公募等) 4p、学会記事(評議員会・総会議事録,) 21p、2010 年会案内、プログラム 13p、追悼文(3 件) 3p、総目次 2p、広告 10 件 6p、白頁 2p 合計頁 206p

7. 英文誌（JMPS）編集報告（榎並 JMPS 編集幹事）

JMPS の編集状況について以下の様な報告があった。平成 22 年 5 月 23 日(日)12:30-13:30 に JMPS 編集委員会を開催。

1) 105 巻 2 号(4 月)発行済。3 号(6 月)原著論文 6 編 62 頁(早期公開中)。4 号(8 月)原著論文 5 編 70 頁(早期公開中)。5 号(10 月)原著論文 2 編 29 頁(早期公開中)と連合 Letter を予定。6 号(12 月)原著論文 4 編(印刷中)。

2) 106 巻 1 号(2 月)1 編(印刷中)。(2009 年 10 月以降)：総投稿数 24 編：(年会 Letter 6 編, 通常原稿 18 編),うち海外投稿数 7 編, Web 投稿 21 編, メール投稿 3 編。査読終了件数 34 件：うち受理原稿 24 編,不受理(含む取り下げ)原稿 10 編, 査読中原稿 18 編。

3) 平成 22～25 年度(計 4 年間)の印刷費「直接出版費」に関して、一般競争入札で契約した。

4) 編集体制：角替敏昭会員(筑波大)(2009 年 10 月)、奥寺浩樹会員(金沢大)(2009 年 11 月)が就任。

5) 2010 年連合大会講演を対象に Letter を募集中である。

6) 編集委員会検討事項。・ページチャージと投稿規定の一部改訂について(継続審議事項)・JMPS オンラインジャーナル化に関するアンケート結果・J-STAGE からの、SwetsWise と Scopus への参加依頼について・査読用 PDF ファイルのセキュリティ設定について

(7) JMPS104 巻 5 号(10 月号)～JMPS105 巻 2 号 (4 月号) 掲載件数

と頁数は以下の通り。 Articles11件 132p, Letters 18件 102p, Min. Abst.75件 17p, Editorial 1p, Index 4p, Contents 4p, 白頁 2p, 合計頁 262p

8. 庶務報告 (小山内庶務幹事)

1) 評議員会において、以下7件のメールでの意見収集、回議が行われた。

2009年10月28日メール意見収集

日本学術会議アンケート「大学教育の分野別質保証のあり方について」2009年11月18日提出

2009年10月30日メール投票依頼

各委員会委員選出投票依頼 2009年11月24日投票結果報告

2009年11月19日メール意見収集

「日本学術会議科学者委員会大型研究計画検討分科会」から大型研究案へのアンケート依頼

2009年11月19日メール意見収集

行政刷新会議「事業仕分け」への対応依頼

2009年11月25日メール意見収集

「博物館法見直し反対声明」ご意見伺い

2010年2月1日メール回議

「鉱物・宝石の科学事典」出版について

2010年3月1日 結果報告:

編集委員長は土山評議員とし今後編集委員の起ち上げを含め作業を進める。

2010年2月4日メール回議

2011年大会と日本地質学会大会の共同開催について

2010年3月1日 結果報告:

2011年度はとりあえず共催で年會を開催する。

鉱物科学会側から LOC メンバーとして茨城大、木村会員と野口会員、行事委員から筑波大の黒澤委員と角替委員へ依頼。

2) 地球惑星科学連合へ以下の対応がなされたことが報告された。

2009年10月29日

定款一部変更等の提案と同提案に対する同意依頼

2009年10月30日 上記同意書提出

2009年11月11日 第1回学協会長会議 松原会長出席

「大型研究案へのコメント要望」依頼

「博物館法見直しの勧告に対する反対声明」依頼

2009年11月20日 日本地球惑星科学連合

行政刷新会議 「事業仕分けについて」意見書

2009年12月18日 日本地球惑星科学連合

博物館法見直しについての反対声明

2010年4月26日 平成22年度団体会員情報届け提出

2010年5月10日 昨年に引き続き「学協会エリア総合インフォメーションコーナー」への入会申込書、JMPS 配布の設置申込

2010年5月26日 17:15-

第2回定例社員総会松原会長出席予定

2010年5月26日 12:30-

第2回学協会長会議松原会長出席予定

3) 日本鉱物学会として以下の声明文を発信した。

2009年11月20日 行政刷新会議「事業仕分け」意見書提出

4) 後援、共催、協賛として9件に対応することが報告された。

5) その他

(1) 地学オリンピック日本委員会へ、2009年2月24日平成22年度協賛金として10万円納入。

(2) 国際惑星地球年 IYPE 日本へ2009年9月18日平成21年度協賛金として1口5万円納入。

(3) 事務局移転の件: 受け入れ側である東北大学地球惑星物質科学科内部での隣の建物への部屋移転要請があったので、7月初旬に業務に支障のないよう速やかに移転する予定。

9. 行事・年會報告 (大和田行事幹事)

1) 日本地球惑星科学連合2010年大会

日程: 2010年5月23日(日)~28日(金)

会場: 幕張メッセ国際会議場

2) 日本鉱物科学会 2010年大会・総会

日程: 2009年9月23日(木)~25日(土)

会場: 島根大学松江キャンパス

共催団体: 島根大学 (予定)

内容: GKK Vol. 39, No. 2 に年會案内記事を掲載。

講演申込み期間: 6月29日(火)14時~7月13日(火)14時。

共催セッション: レギュラーセッション R5 「岩石・鉱物・鉱床一般」資源地質学会

3) 日本鉱物科学会 2011年大会・総会

日程: 2011年9月2日(金)~4日(日)

会場: 茨城大学

共催学会: 日本地質学会

内容: 評議員会のメール会議で承認されたので、地質学会との共催を前提に取組む。

10. 会計監査報告 (伴会計監査委員)

2009年大会会計決算監査と平成21年度科研費補助金内部監査について報告があり、質疑・応答の後、承認された。

11. 将来企画委員会報告 (大谷委員長)

5月24日(月)17:15-20:15 に将来企画委員会が開催予定である旨、報告があった。議題は、下記の通りである。

1. 年會のセッションのあり方について。

2. 国際対応、国際協力のあり方

3. 地球惑星科学連合の固体地球科学セッションへの対応

4. 今後の検討課題; 鉱物科学会の未来像

1) 年會への海外からの招聘の可能性

2) 教科書の執筆: すでに進行中。土山委員より報告。

3) シニア会員の設置と学生会員の勧誘のための委員会を会員幹事のものとの設置 (河上委員)

なお、昨年9月の将来企画委員会において審議をし、いくつかの提案を行った。これらの提案に対して、関係委員会等の意見をいただき、将来企画委員会ですらに審議を行う予定である旨報告された。

12. 教育普及委員会報告 (奥山委員長)

1) 2009年8月に文科省より募集がかかった「一家に一枚」シリーズポスター製作の公募が2010年度にもあるかもしれないことを想定し、学会内から意見募集の上、下案を作成する旨報告された。

2) 2010年「地質の日」行事として、きしわだ自然資料館(大阪府岸和田市)と協賛し、講演会を開催(表題: ドーソン石の今一郷土の鉱物と日時、日時: 5月9日(日)、講演者: 奥山康子)した旨、報告があった。

13. 地球惑星科学連合報告 (大谷幹事)

1) 連合の法人化にともなう連合の機構改革について

2) 平成22年度の連合の活動計画について

14. 三鉱連絡会報告 (大和田幹事)

三鉱連絡会(平成22年5月23日12:30~開催)について、三鉱名簿の従来どおりの発行、島根大学での共催セッションコンピナーの件、2011年茨城大学でのセッションの持ち方などについて報告があった。(後頁参照)

15. 学術会議の報告 (大谷連携委員)

以下について報告された。

1) 地球惑星科学委員会の報告: 特に提言「地球惑星科学における大型研究」について

2) IMA分科会報告:

(1) IMA2010BudapestのセッションおよびBusiness meetingについて

(2) その他

16. 会長候補者推薦委員会報告 (土山委員長)

会長候補者推薦委員会で検討した結果、全員一致で会長候補として大谷栄治会員を次期会長候補者として選定した旨、報告があった。

17. その他

土山評議員から、「鉱物・宝石の科学事典」を朝倉書店から出版予定である旨の報告があり、編集委員としては以下のメンバーが予定されている。

鉱物分野: 土山明(編集委員長)、井上徹、松原聡、小山内康人、赤井純治

宝石分野：宮田雄史，林政彦

II. 承認事項

1. 会員承認(平島会員幹事)

入会および復活について審議され、下記の通り承認された。

1)入会の承認 合計6名

<一般正会員 5名>

会員氏名	勤務先名
赤崎英里	山口県立宇部高等学校
北脇裕士	株式会社 全国宝石学協会
小堀朝生	タイムズ社会保険労務士事務所
鈴木庸平	産業技術総合研究所地圏資源環境研究部門
関口寿史	早稲田大学 教育学部 地球科学専修

<学生正会員 1名>

会員氏名	在学先名	学年(申込時)指導教官名
清水恒子	筑波大学大学院生命環境科学研究科 D1	角替敏昭

2) 復活の承認 (1名)

野岸 博

2. 会長候補者推薦委員会(土山委員長)

大谷栄治会員を次期会長候補者とする事について報告があり、審議の結果、承認された。

3. 平成21年度日本鉱物科学会賞受賞候補者報告と承認 (廣井委員長 代行 土山副委員長)

報告された井上 徹会員を平成21年度日本鉱物科学会賞第5回受賞者として承認した。

4. 平成21年度渡邊萬次郎賞受賞候補者報告(赤荻委員長)

報告された武田 弘会員を平成21年度渡邊萬次郎賞第26回受賞者として承認した。

5. 平成21年度日本鉱物科学会論文賞受賞候補論文報告と承認 (吉朝委員長 代理 奥山副委員長)

報告された以下の2編を受賞論文として承認した。

<平成21年度日本鉱物科学会第7回論文賞受賞論文>

Title: Crystal orientation analyses of biominerals using Kikuchi patterns in TEM

Authors: Kazuko SARUWATARI, Junji AKAI, Yoshihiro FUKUMORI, Noriaki OZAKI, Hiromichi NAGASAWA and Toshihiro KOGURE

Journal of Mineralogical and Petrological Sciences, Vol.103, no.1, 16-22, 2008

[受賞者となる会員著者] 猿渡和子, 赤井純治, 小暮敏博

<平成21年度日本鉱物科学会第8回論文賞受賞論文>

Title: SHRIMP U-Pb dating of detrital zircons from the Sanbagawa Belt, Kanto Mountains, Japan: need to revise the framework of the belt

Authors: Yukiyasu TSUTSUMI, Atsushi MIYASHITA, Kentaro TERADA and Hiroshi HIDAKA

Journal of Mineralogical and Petrological Sciences, Vol. 104, no.1, 12-24, 2009

[受賞者となる会員著者] 堤 之恭, 宮下 敦

6. 平成21年度日本鉱物科学会研究奨励賞受賞候補者報告と承認 (小澤委員長)

報告され笠間丈史会員, 鈴木庸平会員を第5回と第6回の平成21年度日本鉱物科学会研究奨励賞受賞者として承認した。

7. 平成21年度日本鉱物科学会応用鉱物科学賞受賞候補者報告と承認(鍵委員長)

報告された北脇裕士会員を平成21年度日本鉱物科学会応用鉱物科学賞受賞者として承認した。

8. 平成21年度櫻井賞受賞候補者報告(加藤委員長 代理 松原委員)

平成21年度櫻井賞及び櫻井賞奨励賞の受賞候補者は該当者が無い旨承認した。

III. 審議事項

1. 会則改正(会則・内規検討委員会:土山委員長)

以下の会則改正について審議し、質疑・応答の後了承された。

1) 日本鉱物科学会応用鉱物科学賞の受賞候補者は日本鉱物科学会会員である必要はない。

2) 科研費問題検討委員会は、必要のある時にものみ開催する。

2. 松江での年会における他学会とのセッション共催について (大和田行事幹事)

スペシャルセッション S4「はやぶさ：小惑星イトカワからのサンプルリターン」を日本地球化学会との共催とする提案がなされ、質疑・応答の後了承された。

3. 将来企画委員会提案審議事項(大谷委員長)

以下の点について提案があり、質疑・応答の結果、下記の通り了承された。

1) Element の購読について：将来企画委員会においてたたき台(案)を作成する。

2) 岩石鉱物科学のあり方について：岩石鉱物科学編集委員会検討事項

3) 年会の共催について：行事委員会との関連を含め、将来企画委員会においてたたき台(案)を作成する。

4) 国際交流特に海外の研究者の招待講演についての提案：海外からの招待講演を可とする。

5) シニア会員の設置と学生会員の勧誘のための委員会の設置：河上委員を中心に素案を作成する。

4. 事務局移転の件(石渡会計幹事)

移転に係る費用約25万円について審議し、質疑・応答の結果、下記の通り了承された。

(内訳：オフィス引越し基本料、荷造り、荷解き、PC配線、作業員4名、旧居室のクリーニング)

5. その他

1) 柳澤広報渉外幹事より、8月に開催される日本化学熱力学国際会議の際に、日本鉱物科学会を紹介するポスター掲示(無料)について提案があり、8月1日～6日の間の2日間掲示することとした。

2) 土山日本鉱物科学会賞選考委員会副委員長より、日本鉱物科学会賞受賞候補者の選出方法に関する提案がなされ、現選考委員会において問題点等を明らかにして、次年度の選考委員会に申し送る事とした。